

統一地方選挙の投票率は最低を記録しました

東日本大震災支援 第6次チーム

本日は坂総合病院に到着し、オリエンテーションを受けてから、自由時間を利用して被災地の被害がひどかった場所を見て回りました。病院の周りは思っていたよりも被害は少なく、目に見える被害はなかったのですが、車で20分ほど行った七ヶ浜と言うところでは言葉を失うような現状が未だに残っていました。

瓦礫の山の中、建物の上に乗り上げた車や船、土台だけを残した民家などがあり、報道で見ていたものでも実際にみると、その衝撃は想像以上に大きいものでした。

途中何度も車を下りて写真を撮りましたが、どこを撮っても同じような写真、共通しているのは何も無いということでした。

自衛隊の方が瓦礫の除去を行っている場所もありましたが、見渡す限りの瓦礫の山の中、とりあえず道路だけは使えるようにしたと言った感じで、元どおりになるのに一体どれだけの時間がかかるのか想像もつきませんでした。

また案内をして頂いたタクシーの運転手さんも良い方で、ご自身も津波で被災されているにもかかわらず、福島の方々の方が辛いだろうと言われていたのが忘れられません。

金崎さんも被災者の方のことを思い、運転手さんの話を聞いていて涙が止まらなかったとおっしゃっていました。

被災地を実際に見て、改めて宮城の方たちのためにみんなで頑張ろうと決意をした一日でした。

その後の活動報告では、まだ避難所生活を続ける方たちの生活再建に向けた相談活動などが必要と言う話や、支援物資では自宅の片付けや避難所生活で腰痛を訴えるかたが多く、コレセッタなどの必要性が増しているとのことでした。

また被害の少なかった地域の訪問活動では、自分たちはまだいい方だからと悩みを言えない方なども多く、そう言った方達のメンタルケアの必要性も増してきているとの事でした。

ここ最近の問題としては、余震の被害で被災直後にはなかった被害が出ており、病院でも余震後に雨漏りが起きていて、今後も余震が続けば同じような被害が出ると予想されます。

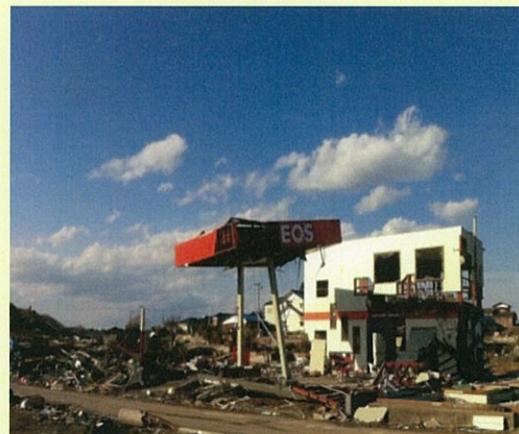
稻原レポート



県連本部前で撮影



全日本見聞連前を出発する第6次チーム



ほつとホットニュース

第9号

長崎県健康友の会連絡会・長崎医連／事務局 斎・牧出掌

上戸町ブロック

四月二五日、新小ヶ倉公民館で行われ、九名が参加しました。四分〇二月で、二六日、女性をつかりのゴキブリ団子づくりの参加者をつくりました。食事バザーを行いました。



新小ヶ倉宴会のゴキブリ団子づくり



食事バザー

県内各友の会「定期懇親会」の日程

みんなの参加をお待ちしています

- 4月29日（木）諫早健康友の会
- 5月14日（土）させぼ健康友の会
- 5月29日（日）長崎健康友の会
- 6月05日（日）香焼健康友の会
- 6月05日（日）五島健康友の会

メーテーに参加しましょう

第82回メーテー長崎集会 5/1 公会堂前広場 9:45集合

12時～ 創立記念大祝賀会 会場：全日空グランビルホテル